

346) 愛は道草

最後のメール受け取った夜 3年間の夢が崩れた
張りつめていた心の糸が プツリと切れてすべてが終わる
叶わぬ夢を追いかけて 叶わぬ夢に涙して
あした
明日を描く地図のない 行方知れずの旅に出る

もう帰らない君の眼差し^{まなざし} もう戻れない昨日のふたり
FMラジオのかすかな音に 吸われるように眠りについた
君の姿の美しく 夢に現れまた消えて
とき
時間の流れがいつの間に 僕の心を追い越した

愛は束の間雲のごとくに^{つかま} 同じ形にとどまることなく
ふと見上げれば5月の空に まっ白い雲いずこに向かう
二つの雲の結ばれて 一つになってまた別れ
風の吹くまま人生は 終着のない物語

君を愛した男がひとり 涙こらえて明日になれば
心開いて何をか語り 心閉ざして何をか祈らん
まぼろし
愛は 幻 人生の ほんの瞬間輝いて^{しゅんかん}
愛は道草^{みちくさ}人生の 歩みの中で立ち止まる